

6 - 6 1989年2月19日の三重県中部の地震 (M5.3)

On the Earthquake (M5.3) in the Central Part of Mie Prefecture, February 19, 1989.

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1989年2月19日13時58分頃、三重県中部にM5.3(深さ52km)の地震が発生、この最大震度は3(上野・岐阜・四日市・奈良・尾鷲・津)、最大有感距離は約230km(岡山)となった(第1図)。この地震による被害の報告はない。

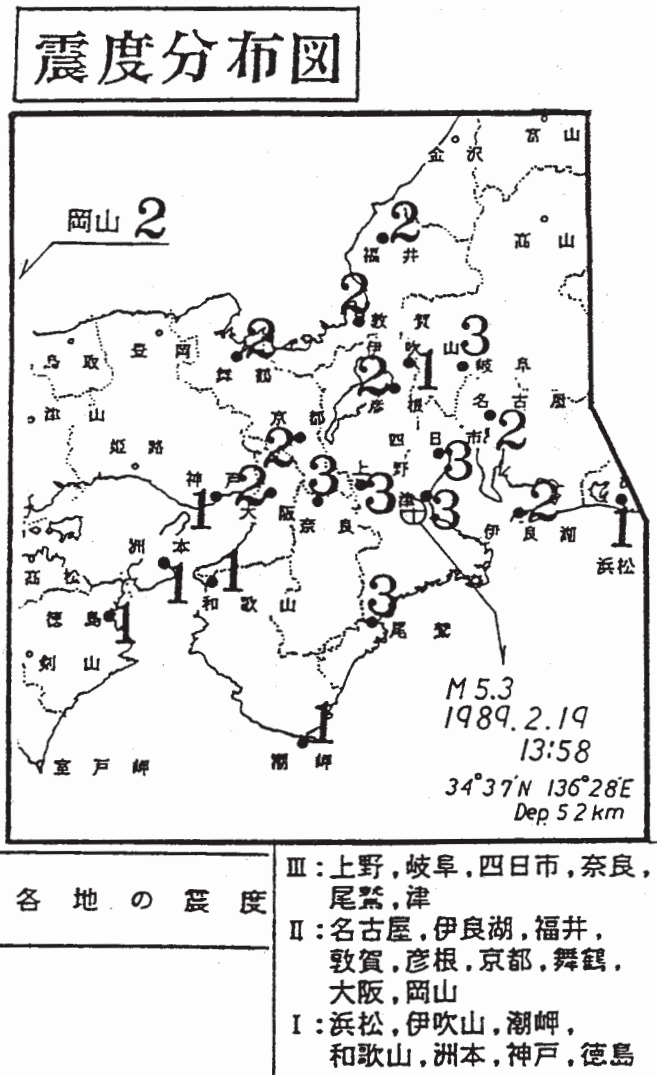
メカニズムは北北西-南南東圧縮の横ずれである(第2図)。余震の発生はない。

この周辺では、M5.0以上の地震発生が少なく、1953年11月7日のM5.0以来のもので珍しい(第3図)。なお、第3図の②に示した地震は、同図①の四角形(実線)内の地震に対応する。

注1: 1989年1月1日からの資料は暫定。

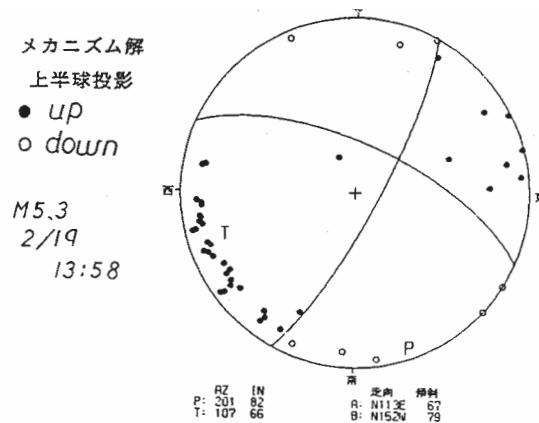
注2: 第3図の脚注に示したデータ使用分は、1988年1月1日からであるので、今回の地震のみとなる。

三重県中部の地震



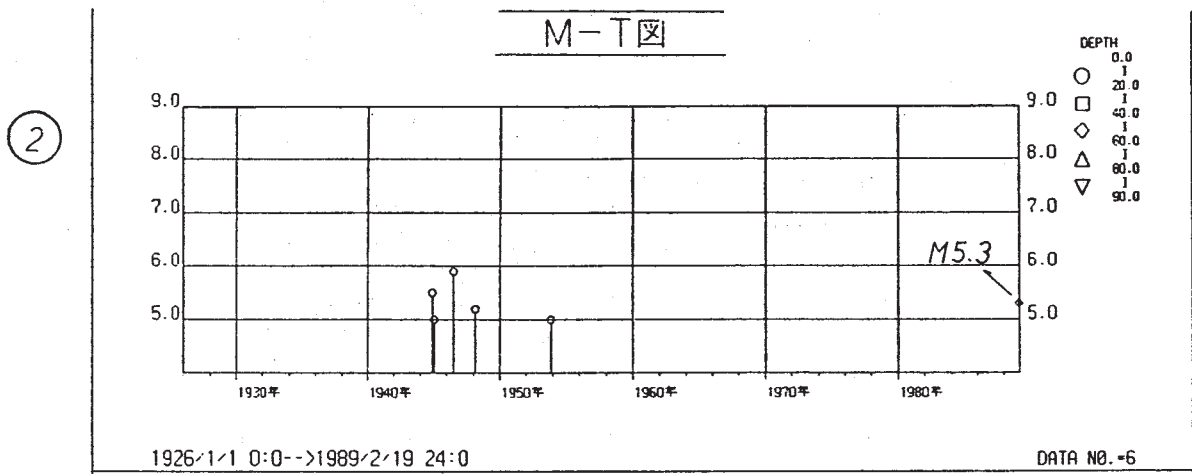
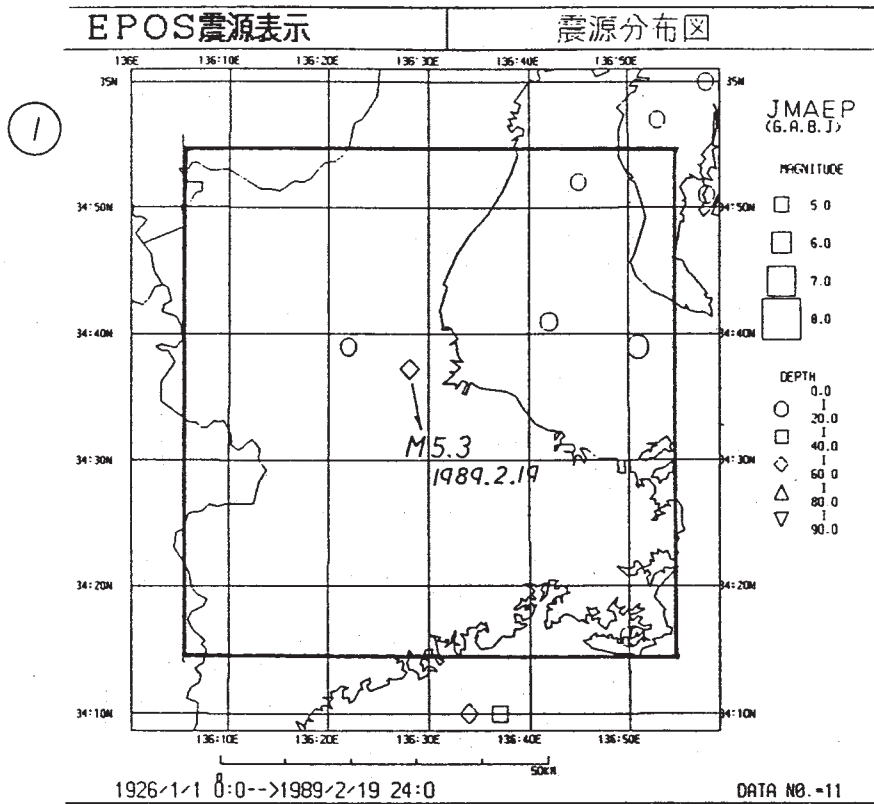
第1図 三重県中部の地震の震度分布 (1989年2月19日:M5.3)

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake in the central part of Mie Pref. (Feb. 19, 1989: M5.3)



第2図 地震のメカニズム解 (上半球投影) ●: 押し, ○: 引き

Fig. 2 Focal mechanism solutions. (Projected on the upper hemisphere). ●: up, ○: down.



(気象庁のほか東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センターのデータ使用)

第3図 三重県中部の地震活動 (1926年1月1日～1989年2月19日:M5.0以上)
 ①:震央分布, ②:M-T図

Fig. 3 Seismic activity in the central part of Mie Pref. (Jan. 1, 1926 - Feb. 19, 1989 : M ≥ 5.0).
 ① : Epicentral distribution, ② : M-T diagram.